

【別紙】 令和7年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立芝中学校)

(A4判横)

学校教育目標	賢く、美しく、逞しい生徒の育成
目指す学校像	校訓「剛毅不屈」のもと、生徒が主体的に学び、他者と協働し、家庭・地域の期待に応える学校

達成度	ほぼ達成 (8割以上)
	概ね達成 (6割以上)
	変化の兆し (4割以上)
	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	4名
事務局 (教職員)	2名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 (令 和 8 年 1 月 3 0 日 現 在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度
組織運営	<p>【現状】</p> <p>PDCAサイクルにより目指す学校像の具現化に向けて、組織的に学校運営を進めている。本校の重要課題である不登校生徒数の割合について、令和6年度不登校生徒数の割合6.8%、学びにアクセスできなかった生徒は、現2年生1名、3年生2名であった。</p> <p>【課題】</p> <p>学びにアクセスできなかった生徒の総欠席数を減らすことが課題である。</p>	○不登校生徒数の割合5%以内	○来年度のほっとルーム設置に向けて、また、不登校生徒を学びへとつなげるための選択肢の一つとして、一人ひとりが自分のペースで学習に取り組むステップルームを新設し、経営する。 ○複数の教職員が関わる、オーダーメイドの支援を行う。	○不登校生徒数の割合3.8%(1月末)。昨年度6.8%(複数の教職員が支援してきた成果)。「ほっとルーム」は令和8年4月に開設できる見通し。	A
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
教育課程	<p>【現状】</p> <p>日常的に一人一台GIGA端末を活用した授業が行われている。</p> <p>【課題】</p> <p>一人一台GIGA端末を有効に活用して、より質の高い授業へと改善する必要がある。</p>	○授業スタイルの確立 「魅力ある学習課題→個別最適な学び→協働的な学び→個別最適な学び→学習課題に正対したまとめ→自分の学習の成果と課題を自覚する振り返り」	○校内研修と、校内授業研究会を開催し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業を全校で研究し、指導課学校訪問の際に実践を公開する。	○端末の有効活用に関する研修会や授業研究会を実施。1月30日の指導課学校訪問にて、全教職員が「芝中授業スタイル」を踏まえた授業を実施。	A
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
開かれた学校づくり	<p>【現状】</p> <p>地域の小学校と連携した事業として、芝中学校区小中合同引き渡し訓練の実施、並びに、各学校における健康課題の解決を図る芝中学校区地域学校保健委員会を行っている。</p> <p>【課題】</p> <p>地域の小学校と連携した事業をさらに推進するため、新規事業を設ける必要がある。</p>	○小中連携事業の推進	○「芝中学校区小中合同引き渡し訓練(芝小と芝南小)」と「芝中学校区地域学校保健委員会」を継続して実施する。 ○既存の2つの事業に加え、新たに次の3つの小中連携事業を実施する ①学力向上に資する芝中学校区小中合同研修会の実施 ②関係小学校との特別支援学級交流会の実施 ③不登校児童生徒の保護者対象芝地区小中合同講演会の実施	1 地域学校保健委員会の実施(1月) 2 小中合同引渡し訓練の実施(6月) 3 【新規】芝中学校区小中合同研修会の実施(8月) 4 【新規】特別支援学級交流会の実施(11月) 5 【新規】不登校児童生徒の保護者対象芝地区小中合同講演会の実施(9月、1月)	A
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
教職員の資質向上	<p>【現状】</p> <p>日々の授業観察や面談を通して、教職員一人ひとりの目標を把握し、その達成に向けて指導、助言している。不祥事防止、働き方改革について、教職員の意識改革を進めている。</p> <p>【課題】</p> <p>働きやすく、教職員不祥事根絶への意識の高い職場づくりが課題である。</p>	○働きやすい職場づくりの推進	○改訂した業務改善スタンダードに則って、働き方改革を進める。 ○計画的な年休の取得を推進する。	○業務改善スタンダードが機能し、在校時間が減少、教職員の平均年休取得13日(1月7日)	A
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
施設・設備等の管理	<p>【現状】</p> <p>安心・安全な教育活動を実践するために、施設設備の計画的な修繕を行っている。</p> <p>【課題】</p> <p>施設や桜の老朽化が課題である。</p>	○施設管理事故0の実現	○定期的な安全点検により、不具合箇所を早期発見・早期対応する。 ○引き続き、市と連携し、桜の植え替えを実施する。	○施設管理事故ゼロを達成。予想もつかない施設設備の不具合が次々と湧き上がる中でも、迅速に対応。	A
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和8年2月17日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・成果について非常に良かったが、不登校はゼロが理想。取組を継続してほしい。ほっとルームの実現も期待している。</p> <p>・小学校で不登校が増えるにつれて、中学校も増えるのは予想できる。現在の小学校との連携は意味がある。</p> <p>・不登校は相当減少しているが、残りの3.8%の不登校生徒の解消が難しい理由は、→小学校からほぼ全欠の生徒がおり、接点をもつ機会が少ない。</p>	
<p>・環境が整っていれば学力は伸びてくる。</p> <p>・端末をどう使うか、気づきを与える授業が大切。</p> <p>・芝中スタイルは強み。継続してほしい。</p> <p>・以前、端末の活用について、教員間で差があったと聞いたが。研修は行っているのか。→毎年計画的に、研修を行っている。</p>	
<p>・不登校対策をはじめ、いろいろな成果が期待できる、非常に素晴らしい事業。芝中が先頭に立って、継続してほしい。</p>	
<p>・若い人の教員離れ、離職の問題として、進めなければならない。限られた時間の中でも、生徒との関係は密であってほしい。</p>	
<p>・お金がかかることで難しいところだが、桜もトイレもきれいになった。桜の若木の生長が楽しみ。</p> <p>・早期に見つけ、早期に直す。学校は防災の拠点でもあるので、万が一に備える必要がある。計画的な修繕を。</p>	